

池田町の財務書類4表(平成28年度決算)

池田町では、住民の皆さんに分かりやすく財政状況の情報を提供するため、複式簿記・発生主義の考え方に基づいた企業会計の手法を取り入れた財務書類4表を作成しています。以下に、一般会計等の財務書類4表の要約版を掲載します。

財務書類4表とは、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」のことで、町の財務実態を見ることができます。また、財務書類を作成することで、資産・債務の適正な管理と情報開示とを一層進めるとともに、財務書類の分析を通じて今後の行財政運営の改善を図るために活用していきます。

貸借対照表

貸借対照表とは、行政サービスを提供するために必要な道路、学校などの資産がどれくらいあるのか、また、その整備のために使われた資金や負債(借金)がどれくらいあるのかを表したものです。

この表は、左側(借方)にこれまで取得した土地や建物、預金などの「資産」を、また右側(貸方)にその資産を形成したことによる将来世代の負担「負債」と、今までの世代が既に負担したものの「純資産」が示されています。(なお、金額は表示単位未満を四捨五入しています。これ以外の表も同様です。)

(単位:億円)

項目(借方)	H28年度	項目(貸方)	H28年度
1. 固定資産	307.6	1. 固定負債	82.1
2. 流動資産	21.3	2. 流動負債	8.1
		3. 純資産	238.7
資産合計	328.9	負債及び純資産合計	328.9

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、資産形成に結びつかない人的サービスや社会保障給付サービスなどに1年間で使った費用などを集計した表です。

(単位:億円)

項目	H28年度
1. 人件費 (人にかかるコスト…職員給与費、賞与等引当金繰入額など)	11.6
2. 物件費等 (物にかかるコスト…物件費、維持修繕費、減価償却費など)	39.7
3. 移転費用 (移転支的コスト…補助金等、社会保障給付、他会計への繰出金など)	37.3
4. その他の業務費用 (その他のコスト…支払利息、その他の業務費用など)	1.0
経常行政コスト 合計	A 89.6
経常収益 (使用料及び手数料、その他の経常収益など)	B 3.2
純行政コスト	A-B 86.4

資金収支計算書

資金収支計算書とは、各種事業を実施するため、1年間に出入りした資金の動きを表したものです。

(単位:億円)

項目	H28年度
前年度末資金残高	5.2
1. 業務活動収支 (人件費支出、物件費支出、補助金等支出、税収等収入など)	4.8
2. 投資活動収支 (公共施設等整備費支出、基金取崩収入など)	△13.7
3. 財務活動収支 (地方債償還支出、地方債発行収入など)	7.2
本年度末資金残高	3.5

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産が期首から期末までの1年間でどのように変動したかを表したものです。

(単位:億円)

項目	H28年度
前年度末純資産残高	239.9
1. 行政コスト	△86.4
2. 財源 (町税、国県補助金など)	85.2
3. その他 (資産評価差額など)	0.0
本年度末純資産残高	238.7

※平成27年度決算分までは、「総務省方式改訂モデル」により財務書類を作成しておりましたが、平成28年度決算分から、平成27年1月に総務省から示されました「統一的な基準」により作成しています。